

令和5年6月16日

学校長様
英語科教諭各位
英授研会員各位

英語授業研究学会 第34回全国大会実施要項

Japan Association for the Study of Teaching English

拝啓 先生方におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症がようやく終息を迎えようとしています。ここまで約3年間、学校の教育活動が大きく制限を受けた中で、各地域の学校・教育機関におかれましては、さまざまな工夫をされて乗り越えて来られたことと拝察いたします。当学会も皆様のご支援・ご協力をいただきながら、関東・関西両支部ともにオンラインを活用するなどして毎月の例会をはじめ、支部研究大会など、学会の活動を継続させて参りました。

さて、昨年度の高等学校での新課程の開始を受けて、新学習指導要領下での小・中・高等学校一貫した英語教育が本格的に進められようとしています。指導と評価の一体化やICTの活用など、子どもたち一人ひとりの可能性を伸ばすべく、さまざまな取り組みが教育現場で行われております。

そこで、第34回となる今回の全国大会は「個別最適な学びや協働的な学びを実現させる英語の授業とは」をテーマに、4年ぶりの対面開催で実施いたします。皆様とともに議論し、現場の実践に生きる研究・研修の場としたいと考えております。夏休み半ばのご多忙な時期ですが、奮ってご参加ください。会員外の先生方や学生の方々の参加も歓迎いたします。

敬具

会長 加賀田 哲也（大阪教育大学）
副会長 久保野 雅史（神奈川大学）
関東支部長 阿野 幸一（文教大学）
実行委員長 津久井 貴之（群馬大学）

- とき： 2023年8月11日(金) 12:50～17:10
12日(土) 9:30～16:50
- 開催方法： 対面開催
- 会場： 立正大学付属立正中学校・高等学校
(馬込キャンパス 東京都大田区西馬込1-5-1)
- 参加費： 会員及び学部学生は参加費無料
一般は2日間の参加は1,500円、1日のみの参加は1,000円
＊事前の参加申し込みは必要ありません。参加費は小銭をご用意ください。
- 大会資料集：会員の方には、事前に英授研HPにて配布いたします。
学生及び一般参加の方には、当日受付にて資料掲載のURLをお知らせします。
タブレットやスマートフォンなどをご持参ください。

大会テーマ「個別最適な学びや協働的な学びを実現させる英語の授業とは」

＜第1日 8月11日(金)＞

総合司会：高橋 信博（東京都市大学付属中学校・高等学校）

1. 開会あいさつ・諸連絡 (12:50~12:55)

大会実行委員長 津久井 貴之（群馬大学）

2. オープニングレクチャー (13:00~14:20)

「外国語学習の科学～SLA 研究の知見を英語授業にいかに活かすか～」

講師 白井 恭弘（ケース・ウェスタン・リザーブ大学）

司会 阿野 幸一（文教大学）

3. 映像による中学校授業研究協議 (14:30~15:40)

「中学校2年 英語: 学習指導要領の本丸を目指して ～真のやり取りとは何かを考える～」

授業者：吉澤 孝幸（秋田県立秋田南高等学校中等部）

分析者：高橋 一幸（神奈川大学）

4. 課題別分科会 (15:50~17:10)

＜第1会場＞ 「個別最適な学びを実現させる指導・支援の在り方」

提案者：藤木 真里佳（山梨県山梨市立加納岩小学校）

大脇 裕也（大阪府大東市立北条中学校）

兼コーディネーター：桐井 誠（文教大学）

＜第2会場＞ 「協働的な学びを実現させる指導・支援の在り方」

提案者：横山 聖（大阪府枚方市立長尾中学校）

今田 健蔵（東京大学教育学部附属中等教育学校）

兼コーディネーター：太田 洋（東京家政大学）

＜第3会場＞ 「指導と評価の一体化」

提案者：山崎 寛己（新潟県新潟市立下山中学校）

森田 琢也（大阪教育大学附属高等学校池田校舎）

兼コーディネーター：豊嶋 正貴（文教大学付属中学校高等学校）

(* プログラム終了後、懇親会を予定しております。)

<第2日 8月12日(土)>

総合司会：中島真紀子（筑波大学附属中学校）

5. レクチャー (9:30~10:40)

「個に応じた英語指導を目指して ユニバーサルデザインの授業づくり」

講師：村上 加代子（武庫川女子大学）

司会：五十嵐 浩子（国士館大学）

6. 映像による高等学校授業研究協議 (10:55~12:05)

「高等学校3年 コミュニケーション英語Ⅲ：インターラクションを通して生徒の思考力と英語力をいかに育てるか」

授業者：宮崎 貴弘（兵庫県神戸市立葺合高等学校）

分析者：米崎 里（関西学院大学）

7. 会員総会 (12:55~13:15)

会長挨拶

2022年度会計報告・2023年度年間事業計画・新役員紹介他

8. 研究・実践発表 (13:20~15:00) (1) 13:20~13:50 (2) 13:55~14:25 (3) 14:30~15:00

<第1会場> 司会：吹原 順子（大阪商業大学）

(1) 「中学校での CLIL における内容を深めるタスクの組み方」

山本 祐輔（大妻中学高等学校）

(2) 「子供たちに「考える力」を身に付けさせる学習法 —1人ひとりが agency となる体験学習を通して—」

秋山 容洋（兵庫県姫路市立四郷学院後期課程）

(3) 「高等学校の CLIL 授業における Translanguaging の有効性の実証」

河野 和幸（東京農業大学第二高等学校）

<第2会場>

司会：和田 憲明（姫路大学）

(1) 「中学校英語授業において一人ひとりの生徒からいかに発話を引き出すか—教師と生徒のインターラクションにおける発問の工夫—」

ラジャ 紫津子（法政大学中学高等学校/東京家政大学大学院）

鈴木 健祐（法政大学中学高等学校）

(2) 「積極的に英語でやり取りを行う生徒の育成 ~リテラチャー・サークルと p4c を組み合わせた実践を通して~」

向井 俊博（愛媛大学教育学部附属中学校）

(3) 「物語テクストを扱った協同学習の実践と評価—中学3年を対象とした翻訳・POP制作・表現読みの授業—」

篠原 泰子（神戸大学附属中等教育学校）

- <第3会場>** 司会：中島 利恵子（新島学園中学校・高等学校）
- (1) 「書く力を育成するための『視写活動』という指導について」
勝呂 奈緒（埼玉県八潮市立八潮中学校）
- (2) 「教員の存在感を消す！主体的で協働的な中学文法学習～3Rs Cycle活動の効果を生徒の気付きから検証する～」
戸恒 和香子（昌平中学・高等学校）
- (3) 「教科書テキストを生徒が自ら料理する－Student-Led Presentationの取り組み－」
木村 祐太（石川県金沢市立西南部中学校）

- <第4会場>** 司会：吉田 和代（千葉県子どもと親のサポートセンター）
- (1) 「中学生（A1-A2 レベル）への turn-taking のストラテジー指導が生徒間でのやり取りの量と質に与える影響」
吉崎 理香（富山大学教育学部附属中学校）
- (2) 「インターリーブ練習が中学校3年生の1分間チャットにおける流暢性に与える影響」
宮崎 太樹（東京都日野市立日野第一中学校）
- (3) 「中学生を対象にした話すこと〔やり取り〕における中間指導～より詳しい情報を聞き出しあえる会話を目指して～」
前田 宏美（東京都立立川国際中等教育学校）
松野 麻里恵（東京都港区立三田中学校）

- <第5会場>** 司会：遊馬 智美（お茶の水女子大学附属高等学校）
- (1) 「高等学校検定教科書の題材に関して生徒の発問を促す指導の実践」
高木 哲也（筑波大学附属高等学校）
- (2) 「『論理・表現I』における指導実践報告－タブレット端末を活用したプロセス・ライティングの手法を用いて－」
津久井 貴之（群馬大学）
工藤 洋路（玉川大学）
加藤 由美子（ベネッセ教育総合研究所）
森下 みゆき（ベネッセ教育総合研究所）
- (3) 「英語談話レベルの文法力と英文内容理解に関する調査結果報告」
前田 哲宏（龍谷大学）

- 9. シンポジウム（15:15～16:45）**
「これからの英語教師に求められる力や役割とは」
- 登壇者：泉 恵美子（関西学院大学）
肥沼 則明（埼玉大学・神奈川大学・早稲田大学大学院非常勤講師）
中嶋 洋一（英語“わくわく授業”研究所代表 元関西外国語大学）
司 会：西村 秀之（玉川大学）

- 10. 閉会あいさつ（16:45～16:50）**
英語授業研究学会 副会長 久保野 雅史（神奈川大学）